

「スポーツの力を考える」

ロンドン五輪メダリストらに学ぶ

ロンドンオリンピックレスリングメダリストらから話を聞くシンポジウム「LEGACY OF SPORT スポーツの力を考える」(社会体育研究所主催)が10月29日、生田キャンパスで行われ、専大生を中心に約600人が聴講した。「専大スポーツ」編集長の村上大晃さん(文学部人文・ジャーナリズム学科2年次)にシンポジウムの模様を寄稿してもらった。

「本物」に触れた喜び

「専大スポーツ」編集長 村上 大晃(文2) 寄稿

生田キャンパスでシンポジウム



▶ 鈴木氏(右)と大矢根教授(手前は久木留准教授)



▲ 専大生を中心に600人が聴講した

5回目を迎える今回の「本物」に触れた喜び。米満達弘氏、同じくシンポジウムに、元文部科学副大臣・参議院議員 銅メダリストの松本隆太郎氏をゲストスピーカーとしてお招きし、「スポーツを通じた社会開発」を議論していただいた。鈴木氏、大矢根教授、久木留准教授(スポーツ情報学)の基調講演に続き、久木留准教授が「本物」に触れた喜びを語り、大矢根教授との対談で、阪神淡路大震災や東日本大震災の時に実際に起きた出来事を通して、スポーツが復興に果たした役割が披露された。



松本隆太郎氏



伊調 馨氏



米満 達弘氏

私の使命だと思おう」とコメントした。自分が結果を残したから満足するのではなく、その技術を次の世代に継承するの役割という姿勢に共鳴した。彼女のようなアスリートが一人でも増えれば、スポーツの未来は明るいと感じた。

鈴木氏の基調講演に続き、久木留准教授が「本物」に触れた喜びを語り、大矢根教授との対談で、阪神淡路大震災や東日本大震災の時に実際に起きた出来事を通して、スポーツが復興に果たした役割が披露された。シンポジウムでは、佐藤雅幸経済学部教授(社会体育研究所長)、久木留准教授が質問し、それに対する鈴木氏と大矢根教授の回答が披露された。内容はロンドンオリンピックでの出来事や苦悩、被災地訪問活動を通しての心の葛藤や経験が中心。「カレッジスポーツ」の位置づけや重要視されるべき役割が議論された。

就職支援プログラムが 神田キャンパスで開講

卒業生が仕事の魅力を語る 12月から始まる本格的な就職支援プログラムが相次いで開講されている。10月20日には「営業職への就職の実践」が実施された。



入門講座「営業」が神田キャンパスで行われ、「営業」の第一線で活躍する本学卒業生4人が、営業職に対する先入観と現実の違いについて説明した。写真上、4人は、出席した3年次生196人に向けて、自らの職務や営業スタイルを紹介し、営業職のやりがいや魅力を語った。また、10月27日には、女子学生を対象とした「事務職入門講座」が神田キャンパスで行われた。参加した283人の学生に対し、OG4人が事務職の面白さや役割などを伝えた。写真下。



▲ 講演する川上教授

公開講座「歴史を紐とく」 東北の歴史と文化を再考

11年目を迎えた人気の公開講座「歴史を紐とく」全6回の講義が9月29日、10月6日、20日の3日間、生田キャンパスで開催された。本年度は東北再興の軸音にあわせて「東北の歴史と文化―再考」をテーマに据え、さまざまな災害を乗り越え、復興してきた東北の人々の不屈の歴史や文化をたどりながらその淵源を探った。

10月6日に行われた講座には約300人が参加。小山利彦文学部教授が「奥の細道」を支えた出羽文人の風景」を講義した。

人文科学研究所(所長 小山利彦文学部教授)が「奥の細道」を支えた出羽文人の風景」を講義した。10月2日に行われた第1回は「加耶の王墓を掘る―校洞7号墳の発掘調査―」と題し、沈煥暉氏

を講演。東北に伝わる蝦夷の英雄アテルイと田村麻呂の攻防など、不当な支配に対する「まつろわぬ民(服従しない民)」の抵抗と逆逆の歴史を振り返り、多様な個性・多様な民族をもつ日本を新たな視点で見直し、東北の復興のあり方を再考しよう」と提言した。

新井教授は、関東大震災後に描かれた絵を見せ、「一枚の絵から読み取れること、伝わること」があり、そこから真実が見えてくる」と語った。11月9日からはPART2「東日本大震災と政府・地方自治体の対応」(12月7日までの毎週金曜日)がスタートした。

大震災を多角的視点で 荒木・新井両教授らが講演

大学院公開講座「東日本大震災から学ぶ災害・リスクの総合研究」のPART1「東日本大震災から学ぶもの―大震災の現在・過去・未来―」を講演。東北に伝わる蝦夷の英雄アテルイと田村麻呂の攻防など、不当な支配に対する「まつろわぬ民(服従しない民)」の抵抗と逆逆の歴史を振り返り、多様な個性・多様な民族をもつ日本を新たな視点で見直し、東北の復興のあり方を再考しよう」と提言した。

MIZUHO 資産運用の広告。あなただけの資産運用を「みずほ」がバックアップ。豊富なラインアップで、お客さまの資産運用ニーズに、「みずほ」はおこたえます。ご相談はお近くのみずほ銀行へ。

三井住友銀行 LEAD THE VALUE 三井住友フィナンシャルグループ SMFG. 確実にやるのはどこでもできる。確実に速くやるからこそ「価値」になる。